

学園広報

新入学試験制度「スカラシップ入学試験」

スカラシップ特待生23名が入学しました。

2018年度入試より導入されたスカラシップ入学試験(一般・大学入試センター試験利用)を突破して23名(臨床心理学科10名、人間科学科3名、英語英米文学科2名、法律学科5名、経済学科3名)が入学しました。この試験に合格して入学した学生は、スカラシップ特待生として授業料が全額免除され、その後の成績により最長4年間免除が継続されます。

4月3日に一同に会したスカラシップ特待生は、鶴丸俊明学長から「学業にとどまらず、クラブ活動、ボランティア活動、留学などにも積極的に参加して充実した学生生活を送ってください」と激励を受けました。

特待生のひとり、Aさんは、「国立大学を目指していましたが、公認心理師試験対応プログラムがある心理学部に関心を持ち、スカラシップ大学入試センター利用入学試験を受験して合格することが出来ました。将来は大学院に進学して公認心理師を目指します」と抱負を述べました。

4月20日のランチタイムミーティングに集まった特待生は、「児童ボランティアを始めました」、「留学生のサポートをしています」、「一人暮らしで早起きが大変」など学生生活の様子を話した後、互いの目標実現にむけて切磋琢磨していくことを再確認しました。

スカラシップ入学試験は、一般入試、大学入試センター試験利用入試のA日程、B日程において、一般入試は同一問題を使用し指定3科目、大学入試センター試験利用入試は、3教科型で外国語①、国語(近代以降の文章)、選択科目(地歴・公民、数学、理科の中の最高点1科目)の合計点で判定します。今回のスカラシップ入試は、一般・大学入試センター試験利用を合わせて延べ565名が受験して92名が合格(平均倍率6.14倍)、23名が入学しました。



鶴丸俊明学長から激励を受けるスカラシップ特待生

2018(平成30)年度入学式

大学院3研究科16名、5学部8学科705名、合わせて721名が入学しました。



心理学部臨床心理学科1期生代表 西塚 萌友さん

4月2日、2018年度入学式が大学院、学部、学科別にG館SGUホールで行われました。鶴丸俊明学長の式辞では、「本学は一昨年、創立70周年を迎え

ました。終戦直後の政治も社会も混乱状態にあり、食べる物にも事欠くなかで、大企業でもない、金持ちでもない若い人たちが、自分たちの手で学び舎を創りました。このような歴史を持つ大学は他にありません。今や5万人の卒業生を擁する大きな大学へと成長してきました。加えて、今年は4年制大学の設立から50年の記念すべき年となります。諸君には、一連の歴史をしっかりと胸に刻みこんでいただき、歴史ある大学の主人公として、勉学に、課外活動に励まれることを、期待いたします。一日も早く大学を理解して、高校の生徒から大学の学生へ成長してください」と新入生に向けてメッセージが送られました。その後、各学部・学科の新入生代表が挨拶し、参列者全員で校歌を斉唱

しました。

入学式第2部「ウエルカムアワー」では、コラボレーションセンターの学生スタッフが進行役を務め、体育系・文化系クラブやゼミナールなど、学生たち自らが作成した動画を用いて普段の活動の様子を紹介しました。

入学式の後には、各学部・学科ごとに教室に分かれてガイダンスが行われ、教職員スタッフの紹介や学生証の交付、授業開始までのスケジュールなどについて担当者から説明を受けました。

当日は天候にも恵まれ、式終了後のキャンパス内では、家族で写真撮影したり、先輩学生からクラブなどへの勧誘を受けたりと、賑やかな様子でした。

2018年平昌冬季五輪初勝利を報告

藤本那菜さん（2012年3月臨床心理学科卒・大学院臨床心理学研究科出身）
アイスホッケー女子日本代表ゴールキーパー



3月11日、2018年平昌冬季五輪アイスホッケー女子で6位入賞した日本代表「スマイルジャパン」のゴールキーパー藤本那菜選手（デンソー北海道、ボルテックス札幌所属）が、鶴丸俊明学長にアイスホッケー女子日本代表チームの五輪での初勝利を報告に来学しました。

藤本選手は、チーム全員の写真とサインが入った記念のプレートを鶴丸学長に渡して、「2戦目のスイス戦で右肩を負傷して全試合には出場出来ませんでした。順位決定戦に出場して

6位入賞することが出来ました。日本チームとメダル獲得チームとの実力差は縮まっている」と笑顔で話してくれました。

鶴丸学長からは、「平昌五輪での活躍を讃え、次回の北京冬季五輪にも出場して活躍することを期待しています」と激励を受けました。

北海道後志総合振興局と「グローバル人材育成協定」締結

—北海道で「海外インターンシップ」体験を—

本学は、今年度からニセコ・エリアでのインターンシップを導入することになりました。インターンシップ生は最長4カ月、宿泊施設などで働きながら外国人観光客への接遇などを通じて英語力を高め、外資系企業におけるビジネス手法をじかに学びます。このインターンシップの実施に伴い、本学は後志総合振興局が手掛ける就業体験事業「ShiriBeshi（しりべし）留学」と連携することとなり、3月23日、「学生のグローバル人材育成に係る協定」の調印式を執り行いました。この中で鶴丸学長は、「本学は『地域と共生する大学』を理念としている。北海道がグローバル化していく中で、北海道に貢献しうる人材を育成していきたい」と抱負を語りました。

今年度は、約10名がインターンシップ生として参加する予定です。



頑張った学生を応援する奨学・奨励金制度

スカラシップ特待生23名、成績優秀者奨学生77名、資格取得者奨学生28名、課外活動特待奨励生53名を採用

2018年度新入生のスカラシップ特待生、成績優秀者奨学生、資格取得者奨学生、課外活動特待奨励生が決定しました。2018年度入試から実施したスカラシップ入試制度によるスカラシップ特待生が23名、入試成績による成績優秀者奨学生77名（前年度比37名増）、入学までの資格取得（英検・簿記など）による資格取得者奨学生29名（7名増）、公募制指定スポーツ推薦などで入学した課外活動特待奨励生53名（2名増）が採用されました。また、課外活動特待奨励生の継続者については69名が決定しています。

昨年度の在学中で資格を取得した10名が資格取得者奨学生として採用されました。また、本学独自の経済援助奨学金には81名が採用され27名（学部生25名、院生2名）が年間授業料の半額、54名（学部生50名、院生4名）が前期授業料の半額が給付されました。

奨学生並びに奨励生は、大学生生活においてより高い目標に向かって勉学や資格取得、課外活動に励むことが期待されています。

■スカラシップ特待生

人数	学科	免除額
23名	臨床心理学科10名、人間科学科3名、英語英米文学科2名、法律学科5名、経済学科3名	1年次の年間授業料

■成績優秀者奨学生

種類	人数	学科	免除額
第1種	6名	人間科学科2名、英語英米文学科2名、法律学科1名、会計ファイナンス学科1名	1年次の年間授業料
第2種	71名	臨床心理学科16名、人間科学科6名、英語英米文学科11名、こども発達学科6名、法律学科12名、経済学科6名、会計ファイナンス学科2名、経営学科12名	1年次の前期授業料

■資格取得者奨学生

	人数	資格の種類	免除額
新入生	3名	実用英語検定準1級1名、TOEIC740点以上1名、日本語能力試験N1 1名	入学金及び1年次授業料
	26名 ※重複あり	日商簿記2級1名、全商簿記1級4名、実用英語検定2級18名、日本語能力試験N2 4名	入学金免除
在学中	10名	実用英語検定準1級4名、TOEIC740点以上4名、TOEIC900点以上2名	年間授業料の半額

■課外活動特待奨励生

	人数	種類	競技名
新入生	53名	一種15名、二種23名、三種1名、四種2名、五種12名	硬式野球18名、弓道12名、ソフトテニス3名、陸上8名、カーリング2名、バスケットボール6名、ボクシング1名、サッカー1名、柔道1名、書道1名
在学中 (継続者)	69名	一種43名 二種26名	硬式野球22名、弓道11名、ソフトテニス13名、陸上15名、カーリング6名、空手道1名、武術太極拳1名

第一種（年間授業料全額免除）、第二種（年間授業料半額免除）、第三種（1年次授業料の半額免除）、第四種（入学金免除）、第五種（入学金半額免除）

学園創立70周年・大学開学50周年記念事業

心理学部開設記念学術講演会 ～講演と音楽の夕べ～

第1部 講演：「自分を支える心の技法」

講師：精神科医（相愛大学、高野山大学客員教授） 名越 康文氏

第2部 演奏会 ソレイユ・ブラン スペシャルバージョン

6月7日、「心理学部開設記念学術講演会～講演と音楽の夕べ～」がわくわくホリデーホール（札幌市民ホール）で開催され、市民、同窓生、学生など約500名の方にご来場いただきました。

第1部の講演では、テレビなどでも馴染みの名越康文氏をお招きし、「自分を支える心の技法」と題して、前向きに生きる意識を高める方法や心を整える呼吸法など、普段の考え方や過ごし方で自分の心をより良く変えていけることについてお話を頂きました。

第2部の演奏会では、道内各地で音楽活動を展開しているソレイユ・ブラン3名（バイオリン2名、キーボード1名）に8名のストリングス（バイオリン・チェロ・ピオラ）を加えた、総勢11名による、クラシックから映画音楽、ポップス、ジャズ、歌謡曲などのスペシャルバージョンを演奏いただきました。



名越 康文氏



ソレイユ・ブラン

高校生のための心理学ミニ講話と進学相談会を開催

一般入試地方試験会場の室蘭市（5/8）と盛岡市（5/18）で、室橋春光心理学部長による「高校生のための心理学ミニ講話」、中村永友広報入試部長（経済学部教授）による「2019入試を考えるヒント」と題してのミニ講話と個別相談会を実施しました。両会場共に本学への志望度の高い生徒と保護者の参加を得て終了時刻間際まで熱心な質問が続きました。参加者からは「スカラシップ入試も考えているので、より勉強を頑張ろうと思いました」、「オープンキャンパスにも参加したいです」などの感想を頂きました。



札幌学院大学教育振興寄付金へのご協力をお願い

札幌学院大学は2016（平成28）年、学園創立70周年を迎えました。そして本年、2018（平成30）年には大学開学50周年を迎えます。本学はこの歴史と伝統を踏まえ、今後も北の大地に根ざした高等教育機関として、地域社会の発展を支える有為な人材の育成に取り組んでまいります。卒業生、在学生のご父母、企業等のみならずにおかれましては、本学が取り組む教育事業のさらなる充実のため教育振興寄付金を賜りたくご協力をお願い申し上げます。

寄付金は「奨学金制度の充実」「教育研究活動の充実」「国際交流事業の充実」「課外活動の充実」「施設・設備の整備・充実」「周年記念事業の推進」に活用させていただきます。

個人（在学生の保護者、卒業生、教職員、一般有志）・各法人、団体の皆様の格別なご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

なお、寄付は専用紙による申し込みとインターネット（本学ホームページ）上でクレジットカード決済やコンビニエンスストアでの払込みによる申し込みが可能です。寄付の詳細についてはホームページからご覧ください。

税制上の優遇措置

本学園への寄付は、次のとおり税制上の優遇措置を受けることができます。個人所得稅については、所得控除と税額控除のどちらかを選択して頂き、確定申告を行うことで所得稅が減免されます。なお、多くの場合「税額控除」を選択した方が、減免が大きくなります。法人（企業等）からのご寄付については、日本私立学校振興・共済事業団の「受配者指定金制度」により、寄付金を支出した事業年度において寄付金額の全額を損金に算入することができます。寄付金のお申し込みや手続きについてご不明な点がありましたら総務課財務係までお問合せください。

教育振興寄付金のご協力に深く感謝▶▶▶ 同窓生、保護者の皆さまをはじめ多数の方々から寄付金のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2017年度の実績は、累計48件、22,648,000円でした。引き続き、皆さまの温かいご支援を心からお願い申し上げます。

寄付者・ご芳名（敬称略・順不同）

2017.4.1～2018.3.31

池脇 利昭	齊藤けい子	高橋 宏司	西山 友男	牧 努	横山 末雄
市川 茂	酒井 恵真	谷口 義秋	八講 徹	松木 剛	米澤 恒司
上村 秩子	佐々木 洋	辻 智子	原部 智行	松下 公紀	(他匿名16名)
小西 秀雄	佐藤 文昭	中村 重和	平木 淳一	松本 健義	
小林 延行	杉井 西子	新谷 正	藤田 直	松本美智子	
近藤 正孝	鈴木 邦夫	西田 敏枝	堀内 高	三浦 上	



札幌学院大学 寄付金 検索

2017年度決算ならびに2018年度予算

事業活動収支計算書

(単位：千円)

		2017年度予算	2017年度決算	差 異	2018年度予算	主な項目
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,040,300	2,035,208	5,092	2,160,500	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
	手数料	32,900	36,399	△3,499	34,100	入学試験の検定料、試験料など
	寄付金	26,000	22,848	3,152	25,000	個人や団体からの寄付金、図書や備品等の贈り物寄付金
	経常費等補助金	275,200	265,985	9,215	278,200	国又は地方公共団体からの補助金
	(内国庫補助金)	(275,000)	(265,779)	(9,221)	(278,000)	
	付随事業収入	22,200	24,990	△2,790	25,000	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入
	雑収入	128,000	142,915	△14,915	148,400	退職金財団交付金、科学研究費の関連経費の収入など
	教育活動収入計	2,524,600	2,528,345	△3,745	2,671,200	経常的な活動のうち教育活動にかかる収入計
	支出の部					
	人件費	2,200,700	2,198,774	1,926	2,190,800	専任教職員・非常勤給与、アルバイト料、退職金など
教育研究経費	1,203,300	1,143,532	59,768	1,186,500	教育や研究部門に資する費用(減価償却費含む)	
管理経費	441,700	359,017	82,683	467,900	管理や法人部門に資する費用(減価償却費含む)	
徴収不能額等	0	761	△761	0		
教育活動支出計	3,845,700	3,702,084	143,616	3,845,200	経常的な活動のうち教育活動にかかる支出計	
教育活動収支差額	△1,321,100	△1,173,738	△147,362	△1,174,000	教育活動収入計から教育活動支出計を減じた額	
収入の部						
受取利息・配当金	171,000	168,275	2,725	118,000	貸付金または預金などの運用財産の利息・受取利息・配当金	
その他の教育活動外収入	0	0	0	0		
教育活動外収入計	171,000	168,275	2,725	118,000	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる収入計	
支出の部						
借入金等利息	2,000	1,906	94	1,000	借入金の支払利息、リース料の利息分など	
その他の教育活動外支出	0	0	0	0		
教育活動外支出計	2,000	1,906	94	1,000	経常的な活動のうち教育活動以外の主に財務活動にかかる支出計	
教育活動外収支差額	169,000	166,369	2,631	117,000	教育活動外収入計から教育活動外支出計を減じた額	
経常収支差額	△1,152,100	△1,007,369	△144,731	△1,057,000	教育活動収支差額と教育活動外収支差額の合計額	
収入の部						
資産売却差額	0	0	0	0	資産売却収入が当該資産の帳簿価格を超える場合の、その超過額の収入	
その他の特別収入	3,200	2,123	1,077	2,700		
特別収入計	3,200	2,123	1,077	2,700	資産売却や処分にかかる臨時的な収入	
支出の部						
資産処分差額	16,000	22,417	△6,417	37,200	資産売却代価が帳簿価格を下回った場合の差額や資産を売却した際の売却額	
その他の特別支出	0	0	0	0		
特別支出計	16,000	22,417	△6,417	37,200	資産売却や処分にかかる臨時的な支出	
特別収支差額	△12,800	△20,294	7,494	△34,500	特別収入から特別支出計を減じた額	
予備費	7,900	0	7,900	8,400	予備的予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上	
基本金組入前当年度収支差額	△1,172,800	△1,027,663	△145,137	△1,099,900	経常収支差額と特別収支差額の合計額	
基本金組入額合計	△218,600	△87,116	△131,484	△324,100	1号から4号までの基本金組入額	
当年度収支差額	△1,391,400	△1,114,779	△276,621	△1,424,000	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した今年度の収支差額	
前年度繰越収支差額	△1,316,300	△1,325,608	9,308	△2,440,400	前年度までの収支差額	
基本金取崩額	0	0	0	0	当年度で購入した建物や備品等の額を上回って、既存の建物や備品等を売却した際に基本金を取崩す額	
翌年度繰越収支差額	△2,707,700	△2,440,386	△267,314	△3,864,400	翌年度へ繰り越す収支差額	
(参考)						
事業活動収入計	2,698,800	2,698,744	56	2,791,900	当年度のすべての事業活動収入	
事業活動支出計	3,871,600	3,726,407	145,193	3,891,800	当年度のすべての事業活動支出	

2017(平成29)年度決算並びに2018(平成30)年度予算

2018(平成30)年5月25日に開催された第228回理事会において、学校法人札幌学院大学2017(平成29)年度決算並びに2018(平成30)年度補正予算が承認されました。

[2017(平成29)年度決算の概要]

事業活動収支計算書の当年度収支差額については、予算額で新札幌キャンパス関係支出を見込み13億9,140万円の支出超過を見込んでおりましたが、決算額では2億7,660万円支出超過が減少し、11億1,480万円の支出超過となりました。これは、2018(平成30)年度入学者増加に伴うものと、教育研究経費及び管理経費、施設・設備関係支出の重なる部分による差異が大きな要因です。

資金(キャッシュ)の増減については概ね予算通りとなりましたが、支出超過の状況が続いており、財務基盤をより強固なものにするため、中期的に収支均衡を図るよう改善を行っていく所存です。

資金収支計算書

(単位：千円)

		2017年度予算	2017年度決算	差 異	2018年度予算	主な項目
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,040,300	2,035,208	5,092	2,160,500	入学金、授業料、教育充実費、実験実習料など
	手数料収入	32,900	36,399	△3,499	34,100	入学試験の検定料、試験料など
	寄付金収入	26,000	22,848	3,152	25,000	個人や団体からの寄付金
	補助金収入	275,200	265,985	9,215	278,200	国又は地方公共団体からの補助金
	資産売却収入	0	729,827	△729,827	0	機器備品等の固定資産の売却による収入
	付随事業・収益事業収入	22,200	24,990	△2,790	25,000	外部より委託を受けて行う試験・研究などの収入
	受取利息・配当金収入	171,000	168,275	2,725	118,000	貸付金、預金等運用財産の利息・受取利息・配当金
	雑収入	128,000	142,915	△14,915	148,400	退職金財団交付金、科学研究費の関連経費の収入など
	前受金収入	325,900	392,264	△66,364	365,600	翌年度入学生の入学金、授業料、教育充実費など
	その他の収入	6,219,200	9,246,918	△3,027,718	5,209,400	運用資産の満期または売却による収入額、前期末未収入金、貸付金の回収収入など
資金収入調整勘定	△476,500	△474,822	△1,678	△526,600	当年度の未収入金、前期末の前受金など	
前年度繰越支払資金	1,678,400	1,678,441	△41	1,773,300	前年度に繰越された預貯金など、支払資金の繰越額	
収入の部合計	10,442,600	14,269,248	△3,826,648	9,610,900		
支出の部	人件費支出	2,186,700	2,187,667	△967	2,217,700	専任教職員・非常勤給与、アルバイト料、退職金など
	教育研究経費支出	876,500	830,668	45,832	836,600	教育や研究部門に資する費用
	管理経費支出	414,200	333,677	80,523	440,700	管理や法人部門に資する費用
	借入金等利息支出	2,000	1,906	94	1,000	借入金の支払利息、リース料の利息分など
	施設関係支出	148,500	84,287	64,213	506,700	土地・建物・構築物等の固定資産取得の支出
	設備関係支出	191,700	157,874	33,826	91,700	備品・図書・施設利用権等の固定資産取得の支出
	資産運用支出	5,546,000	8,504,033	△2,958,033	4,420,100	運用資産の新規購入または満期償還などによる再取得額
	その他の支出	436,100	442,020	△5,920	87,300	新たな貸付金、前払金、前年度の未払金など
	予備費	7,900	0	7,900	8,400	予備的予算で、本学では事業活動収入の0.3%を計上
	資金支出調整勘定	△44,900	△46,144	1,244	△46,000	当年度の期末未払金、前期末の前受金
翌年度繰越支払資金	677,900	1,773,260	△1,095,360	1,046,700	次年度に繰越す預貯金など、支払資金の繰越額	
支出の部合計	10,442,600	14,269,248	△3,826,648	9,610,900		

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部	本年期末		増 減	主な項目
	2018年3月31日	2017年3月31日		
固定資産	25,869,526	26,178,885	△309,359	有形固定資産とその他の固定資産の合計額
有形固定資産	10,627,986	10,744,277	△116,291	使用期間が1年以上にわたる、土地・建物・構築物・備品・図書
特定資産	14,869,494	15,406,433	△536,939	1年以上所有する特定資産
その他の固定資産	372,046	28,175	343,871	1年以上所有する、電話加入権・施設利用権・長期貸付金・長期前払金
流動資産	1,915,831	2,619,157	△703,326	現金や預金・1年以内の短期貸付金
資産の部合計	27,785,357	28,798,042	△1,012,685	

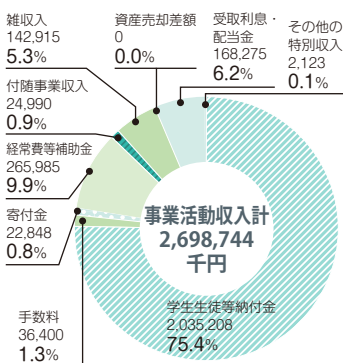
負債の部

固定負債	1,222,532	1,251,888	△29,356	返済期限が1年以上の借入金や学費債、退職給付引当金
流動負債	529,018	484,685	44,333	返済期限が1年未満の借入金や学費債、預り金や未払金
負債の部合計	1,751,550	1,736,572	14,977	

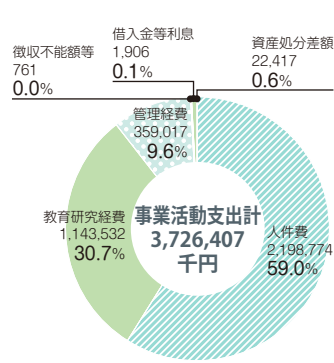
純資産の部

基本金	28,474,193	28,387,077	87,116	学校法人会計基準第30号で定められた固定資産(第1号)、新校舎建設等引当特定資産(第2号)、運用果実で行う奨学事業の基金(第3号)、法令に基づいた支払準備金(第4号)
繰越収支差額	△2,440,386	△1,325,608	△1,114,778	前年度までの繰越収支差額に、当年度の繰越収支差額を加えた累積額
純資産の部合計	26,033,807	27,061,470	△1,027,662	基本金及び繰越収支差額の合計
負債及び純資産の部合計	27,785,357	28,798,042	△1,012,685	負債の部合計と純資産の部を合計した額

2017年度 事業活動収支計算書 事業活動収入割合 (金額単位：千円)



2017年度 事業活動収支計算書 事業活動支出の部割合 (金額単位：千円)



[2018 (平成30) 年度の予算編成方針]

(基本的な考え方)

- 財政健全化のため、事業活動収入の増加に資する事業を推進する。
 - 入学者を安定的に確保するための施策
 - 休退学者・除籍者を減少させるための施策
 - 補助金獲得(私立大学等改革総合支援事業)につながる大学改革、教育改革事業
- 教育、研究、地域貢献活動等の基盤を保障した上で本学の強みを強化する事業を推進する。
 - 教育内容の充実を図るための事業
 - 学生の就業力を高める事業
 - 学生の課外活動を支援する事業
 - 研究水準の向上に資する事業
 - 社会貢献、地域貢献事業
- 新拠点展開を含む総合的な中期キャンパス整備計画を策定する。
- 大学改革と学部学科の再編に係る諸活動を推進する。
- 新さっぽろでの校地・校舎取得により、新たな教育事業及び社会(産学・地域)連携事業を推進する。
- 引き続き学園創立70周年・大学開学50周年記念事業を推進する。
- 「財政再建計画2017」に従って、人件費の抑制・削減を進める。
- 業務効率化を通じて管理経費の縮減を進める。

[2018 (平成30) 年度予算の概要]

以下の、重点政策事項を具体化し、実現するため、当年度収支差額は13億5,060万円の支出超過を見込んでおり、資金(キャッシュ)については約6億5,320万円の減少を見込んでおります。先に述べましたが、中期的に収支均衡を図るよう、改善を行っていき所存です。

◎主な重点政策事項

- 教育の改善
 - 基礎学力育成のための新たな教育コンテンツの充実
 - 高大接続・入学前学習の充実による大学への適応性の強化
 - 大学教育に関する理解を深めることを意図した履修要項の改善
 - キャリア科目等の就業教育の充実
 - FD(教員の能力開発)・授業アンケートの活用等を通じた授業改善の強化
 - IR(教学データ分析)の推進と広範な活用
 - サポートセンター、コラボレーションセンター、ラーニングcommons等、学習施設の活用指導の強化
 - 地域連携教育の充実
 - 国際化・グローバル教育の充実
 - 教員顕彰制度の検討
- 休退学予防に係る取り組みの強化
- 私立大学等改革総合支援事業への取り組みの強化
- 人文学部・社会科学系学部の再編の推進
- 心理学部設置作業の推進と学生募集への対応
- 学生支援の強化
- 多様な学びのスタイルに対応する教育環境と学生の諸活動を活性化させるキャンパス、安心・安全、リアフリーにも配慮した居心地のよい滞在型キャンパスへの推進
- 学園創立70周年・大学開学50周年記念事業の推進
- 財政基盤の安定に向け、中期計画の策定・実行

2018年度 科学研究費助成事業 (日本学術振興会) 採択状況

科学研究費助成事業とは、文部科学省並びに独立行政法人日本学術振興会所管の競争的研究資金です。本学からも下記の研究者が競争的資金を獲得し、研究活動を活発に行っております。

(単位:円)

研究代表者	学部	研究種目	研究課題	交付決定額
白杵 勲	人文	基盤研究 (A)	ヘルレン川流域を中心とした匈奴国家中枢地の研究	17,420,000
奥田 統己	人文	基盤研究 (B)	アイヌ語現地調査資料の整理・分析および研究者アーカイブズの構築	2,470,000
森 直久	心理	基盤研究 (B)	困難を示す生徒・学生のための生態心理学的アプローチによる学習環境デザイン	1,950,000
橋長真紀子	経営	研究成果公開促進費(学術図書)	パーソナルファイナンス教育の理論と実証—大学生の消費者市民力の育成—	1,900,000
清水 敏行	法	基盤研究 (C)	民主化以降の韓国と台湾における政治と市民社会の相互作用の比較研究	650,000
小内 純子	法	基盤研究 (C)	農山村における新しいソーシャル・サポート・システム構築に関する研究	780,000
大澤 真平	人文	基盤研究 (C)	子ども・若者の貧困とその経験:社会的文脈を組み込んだ分析視角から	0
大塚 宣明	人文	若手研究 (B)	北海道における先史時代の資源利用の解明に向けた基盤構築—置戸産黒曜石を観点に一	1,040,000
齊藤 美香	心理	基盤研究 (C)	援助要請行動回避型学生へのメンタルヘルス教育プログラムの開発	1,560,000
宮崎 友香	心理	基盤研究 (C)	治療的アセスメント短縮版の開発と適用に関する実証的研究—複数施設における効果検証	650,000
土居 直史	経済	若手研究 (B)	空港使用料の転嫁と帰着に関する実証研究	650,000
井上 仁	経済	基盤研究 (C)	金融危機時における銀行バランスシートリスクと貸出行動の誤認識問題	1,040,000
山本 彩	心理	基盤研究 (C)	社会的ひきこもりや暴力等の不適応行動に対する家族支援プログラムの普及と効果検証	1,040,000

教職員人事

■退職 (平成30年3月31日付)

- 新國三千代 (人文学部こども発達学科 教授)
- 原 晴生 (経営学部会計ファイナンス学科 教授)
- 木戸 功 (人文学部人間科学科 教授)
- 嶋田 佳広 (法学部法律学科 准教授)
- 笹川 敏彦 (法学部法律学科 教授)
- 瀧本京太郎 (法学部法律学科 講師)
- 佐藤真紀世 (法学部法律学科 准教授)
- 土田 建次 (教育支援課)
- 六本木英子 (図書課)
- 夏井 正史 (総務課)
- 畑中 ゆい (図書課)
- 林 聖佳 (教務課)
- 小倉友里恵 (広報入試課)
- 山 真莉奈 (図書課)

■採用 (平成30年4月1日付)

- 森 邦恵 (経済学部経済学科 教授)
- 小幡 宣和 (法学部法律学科 准教授)
- 山本 政俊 (人文学部人間科学科 教授)
- 横路 俊一 (法学部法律学科 教授)
- 河合 直樹 (人文学部人間科学科 講師)
- 黄 昕 (経営学部経営学科 講師)
- 佐藤 理織 (広報入試課)
- 出羽 寛信 (総務課)
- 卜部 洋子 (学生支援課)
- 鈴木美里佳 (教務課)
- 富樫ふゆ子 (図書課)
- 納谷あずさ (広報入試課)

■任命 (平成30年4月1日付)

- 地域社会マネジメント研究科長 河西 邦人
- 臨床心理学研究科長 山本 彩

- 人文学部長 湯本 誠
- 心理学部長 室橋 春光
- 社会情報学部長 皆川 雅章
- 人間科学科長 藤野 友紀
- 英語英米文学科長 眞田 敬介
- こども発達学科長 井上 大樹
- 臨床心理学科長 佐野 友泰
- 法律学科長 清水 敏行
- 就職部長 石川 千温
- 教職課程委員長 舩田 弘子
- 国際交流委員長 橋長真紀子
- 人文学部教務委員長 中村 敦志
- 経済学部教務委員長 湯川 郁子
- 法学部教務委員長 石井 和平
- コラボレーションセンター長 土居 直史

■昇任 (平成30年4月1日付)

- 山本 彩 (心理学部臨床心理学科 教授)
- 土居 直史 (経済学部経済学科 准教授)

■所属学部・学科変更 (平成30年4月1日付)

- 吉川 哲生 (経営学部会計ファイナンス学科 准教授)
- 望月 和代 (人文学部人間科学科 教授)
- 中村 裕子 (人文学部人間科学科 講師)
- 村澤和多里 (心理学部臨床心理学科 教授)
- 佐野 友泰 (心理学部臨床心理学科 教授)
- 室橋 春光 (心理学部臨床心理学科 教授)
- 森 直久 (心理学部臨床心理学科 教授)
- 山本 彩 (心理学部臨床心理学科 教授)
- 大宮 秀淑 (心理学部臨床心理学科 准教授)
- 齊藤 美香 (心理学部臨床心理学科 准教授)
- 久蔵 孝幸 (心理学部臨床心理学科 准教授)
- 宮崎 友香 (心理学部臨床心理学科 准教授)

■異動 (平成30年4月1日付) ※ () 内は、異動前の所属

- 図書課 研究支援係長 三川 豊章 (情報処理課長)
- 図書課 菅原 真紀 (図書課 研究支援係長)
- 情報処理課 課長(兼務) 齊藤 和郎 (事務局長)

■採用教職員



森 邦恵 小幡 宣和 山本 政俊 横路 俊一 河合 直樹 黄 昕
佐藤 理織 出羽 寛信 卜部 洋子 鈴木美里佳 富樫ふゆ子 納谷あずさ

公開講座 — 大学の知的財産を社会へ発信 —

人文学部公開講座（第39回）

〈科目名：人間論特殊講義〉

人口減少時代の大学と地域の連携

開催日(土曜日) 5月12日、19日、26日、
6月2日、9日、23日、
7月7日、14日
開催時間 1講時(9:10~10:40)
2講時(10:50~12:20)
開催場所 D202教室(D館2階)

経済学部公開講座（第11回）

〈科目名：経済学特別講義B〉

グローバル化と北海道

開催日(金曜日) 9月21日、28日、
10月5日、12日、19日、26日
11月2日、9日、16日、30日
12月7日、14日、21日、
1月11日、22日(火)
開催時間 3講時(13:10~14:40)
開催場所 D202教室(D館2階)

法学部公開講座（第29回）

〈科目名：法政総合講座A〉

北海道から全国へそして世界へ 発信する～北海道の潜在力

開催日(水曜日) 9月19日、26日
10月3日、10日、17日、
24日、31日
11月7日、14日、21日、28日
12月5日、12日、19日、1月9日
開催時間 3講時(13:10~14:40)
開催場所 D202教室(D館2階)

※公開講座は、「道民カレッジ」の連携講座で「えべつ市民カレッジ」との共催です。

2018年度 コミュニティカレッジのご案内

コミュニティカレッジは今年で19年目となりました。今年度は、社会連携センターが大通から江別市の本学に移転したことから、学長及び副学長による無料講座「大学は面白い!」を開講いたします。前期の講座には地元の新しい受講者も加わり、400名を超える方々にご参加いただいています。昨年度実施したアンケート調査から受講者の声を拾ってみました。

「豊かな人間社会のためには広い知識と教養は不可欠」、「人は死ぬまで向上心を失くしてはいけない」、「専門家の話を身近で聞けるのは勉強になる」など。

人生を豊かにする「学び」の場、コミュニティカレッジ。後期の講座は10月から開講予定です。詳しくは、ホームページ (<http://www.sgu.ac.jp/rcc/>) をご覧ください(8月下旬に公開予定です)。同窓生、在学生の保護者には受講料の特別割引制度を設けています。

札幌学院大学 社会連携センター 検索



2018年度 前期講座のご案内

一般講座	市民セミナー
1. 大学は面白い! 学長 副学長 江別 中道	9. フジテレビ「プロ野球選手 藤原 大祐
2. パシフィックの心理学 心理学 藤原 大祐	10. 大学は面白い! 学長 副学長
3. 現代の中国—その経済、社会と文化 社会学 藤原 大祐	11. フジテレビ「プロ野球選手 藤原 大祐
4. 「ふるさと」の歴史と文化 社会学 藤原 大祐	12. フジテレビ「プロ野球選手 藤原 大祐
5. 学生と社会—国際化競争と日本の産業輸出戦略 社会学 藤原 大祐	13. 札幌学院大学 社会連携センター 主催 市民セミナー
6. 学生と社会—国際化競争と日本の産業輸出戦略 社会学 藤原 大祐	14. 札幌学院大学 社会連携センター 主催 市民セミナー
7. 「学問」の歴史と文化—フロンティアの歴史 社会学 藤原 大祐	15. 札幌学院大学 社会連携センター 主催 市民セミナー
8. 特別支援教育実践の一例—社会学 藤原 大祐	16. 札幌学院大学 社会連携センター 主催 市民セミナー

※受講料は申込書に記載のとおりです。17~18ページをご覧ください。

後援会役員会を開催

5月19日、後援会の本年度役員会を本学50年記念館において開催いたしました。当日の主な議案は、①新評議員の選任、②平成29年度事業報告及び決算、③平成30年度事業計画及び予算で、全てご承認をいただきました。事業報告の中では本学の教育環境や学生の就職状況、課外活動での活躍が教務、就職、学生の各部長から報告されました。

役員会終了後の昼食会では、学園及び大学関係者も参加してごやかに懇談を行いました。後援会長から本学の学生がより一層の活躍を期待したいと結びの言葉にし、後援会役員会を終了しました。

なお、役員会の詳細につきましては、大学のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



札幌学院大学選書

住宅扶助と最低生活保障： 住宅保障法理の展開とドイツ・ハルトツ改革

嶋田佳広 著

【発行元】法律文化社 【発行日】2018年4月1日
【価格】7,000円(税別) ISBN 9784589039163

この本は、住宅の保障という深遠なテーマ設定について、生活保障・住宅扶助の観点から、ドイツ法を比較対象として研究しました。内容的には、ハルトツ改革というドイツの一大プロジェクトが社会保障の世界に大きな影響を与えていることに着目し、判例理論の展開を追いかけたものです。いかにもマニアックな書物ではありますが、昨今の日本における生活保障の問題にも触れていますので、ご関心のある方は是非「チャレンジ」していただければ幸いです。



「レッドブル400日本大会」で 高坂凌太さん(経営学科3年 陸上競技部)が2年連続優勝

5月12日、札幌市大倉山ジャンプ競技場で行われた「世界で最も過酷な400(走)と呼ばれるヒルクライムレース「Red Bull(レッドブル)400日本大会」個人男子の部で、陸上競技部に所属の高坂凌太さん(経営学科3年)が3分51秒で、昨年に引き続き優勝しました。高坂さんは、8月25日にオーストリアのビショフスホーフェンで開催される世界大会へ日本代表として出場することになりました。世界大会でも優勝を目指して頑張ってください。



マレーシア 学生交流派遣プログラム

昨年度に新設されたマレーシア学生交流派遣プログラムが、2月25日から3月5日にかけて実施されました。今回は、1年生4名(英語英米文学科3名、法学部1名)と教員1名がマレーシアに派遣されました。前半は、クアラルンプールの協定校KDU University Collegeの学生寮に宿泊し、KDUの学生を交えた英語研修を中心としたプログラムを受講しました。後半は、マレー半島北西部に位置するペナン島を拠点にホームステイを体験して、ゴム農園や養蜂、マレー舞踊・料理といった現地の産業、文化に触れました。マレーシアは、アジアの中でも英語が非常に普及しており、国際企業も多数展開していることから、本学では今夏より英語研修・インターンシップを実施予定です。



江別の魅力を紹介する小冊子 「江別のかほり」を発行

コミュニティ誌「江別のかほり(2018年3月3日発行)」は、経営学部三好元ゼミの3年生が、ゼミナール活動の一環として江別地域の「人」、「仕事」、「会社」に焦点をあて、江別市長や市内の飲食店などを取材・編集し、江別の「香り」を感じるように仕上げました。冊子は市内の4万5,000世帯に配布されました。今年度は、「人と仕事」をテーマに、江別で活躍する人に焦点をあて、生い立ちや仕事について取材する予定です。



未来へ STEP UP エクステンションセンター 前期講座がスタート

エクステンションセンターでは、正課の授業で取得できる資格とは別に、就職に役立つ資格やスキルを身につけることを目的に資格講座を開講しています。今年度も行政書士講座、宅地建物取引士講座、FP技能士講座、サービス接遇検定講座、保育士講座、法学検定講座、パソコン(MOS)講座、日商簿記講座、旅行業務取扱管理者講座、TOEIC講座などの資格講座と公務員志望者を対象とした公務員講座を開講しています。授業の後に学内で受講が出来、受講料も安いことから毎年多くの学生が受講して資格を取得しています。今年度も前期講座がスタートしています。後期は、二種外務員講座、秘書検定講座、ANAエアラインスクール、介護職員初任者研修講座などを予定しています。後期の講座につきましては、エクステンションセンター受講受付(札幌学院大学生協)へお問合せください。



Information

2018(平成30)年度 保護者懇談会のご案内

保護者懇談会は、大学と保護者が協力して学生の学びと成長を支えているという目的で1974年から開催し、今年で44年目を迎えます。

本学の教育と最近の就職状況についてご説明申し上げると共に、学生一人ひとりの修学状況を十分に踏まえた上で、学部担当教員より、お子様の修学状況(単位修得・成績等)をお話させていただきます。

今年度は、以下のとおり開催を予定しています。



昨年の本学会場における全体説明会の様子

開催地	開催日	受付	時間	会場
帯広	9月1日(土)	12:00	12:30~14:30	とかち館
釧路	9月2日(日)	9:30	10:00~12:30	釧路プリンスホテル
函館	9月8日(土)	9:30	10:00~12:30	ホテル法華クラブ函館
青森	9月9日(日)	9:30	10:00~12:30	ホテル青森
本学	10月6日(土)	9:30	10:00~15:00	札幌学院大学

※本学会場では、13時よりキャリア支援課主催の「保護者向け就職活動勉強会」を開催します。

第48回大学祭が6月30日に開催されます

「お笑いLIVE」にはテレビ番組「陸海空 地球征服するなんて」で人気のお笑い芸人バッドナイス常田さんが(ほか2組)、音楽LIVEには、札幌出身のメジャーバンドThe Floorが出演します。

[入試情報] オープンキャンパス

開催日	時間	会場
6月16日(土)	13:00~16:00	AO入試説明会
7月22日(日)	11:00~16:00	学びLIVE
9月23日(日)	13:00~16:00	推薦入試対策講座
12月8日(土)	13:00~16:00	スカラシップ・一般・センター入試対策講座
2019年3月17日(日)	13:00~16:00	スカラシップ超入門講座

全道各地とJR札幌駅、地下鉄新さっぽろ駅から無料送迎バスを運行予定

学科説明会 & 授業体験

- 臨床心理学科
- 人間科学科
- 英語英米文学科
- こども発達学科
- 法務学科
- 経済学科
- 会計ファイナンス学科
- 経営学科

体験・相談プログラム

- 全学説明会
- 学部説明会
- AO・推薦入試説明会
- SQU Center
- 推薦入試ガイダンス
- オンライン説明会
- オンライン説明会
- オンライン説明会
- オンライン説明会

札幌学院大学 入試フリーダイヤル 0120-816-555

[入試情報] 大学進学セミナー

開催地	開催日	時間	会場
旭川	8月25日(土)	12:00~14:30 (受付11:30~)	イオンモール旭川駅前 4階イオンホール
北見	8月26日(日)	10:30~13:00 (受付10:00~)	野付牛モール チャリオット
帯広	9月1日(土)	12:00~14:30 (受付11:30~)	Restaurant et Café オランジュ
釧路	9月2日(日)	10:30~13:00 (受付10:00~)	アクア・ベール
函館	9月8日(土)	10:00~12:30 (受付9:30~)	函館市地域交流 まちづくりセンター
青森	9月9日(日)	10:00~12:30 (受付9:30~)	青森県観光物産館 アスパム

SNSで情報配信中

Facebook



twitter



受験生用 LINE



Instagram

